

# 鮫ボラ夏休み三社大祭 ver. in バンラボ 2025

八戸工業大学第二高等学校 鮫観光ボランティア 班

## 1, 事業の目的

八戸市の代表的な観光地である八戸三社大祭やウミネコがいる天然記念物の蕪島での観光ボランティアを継続する。地元の高校生が観光ガイドをすることで、八戸市をアピールするだけではなく、地域の学習や郷土愛の醸成を図る。将来を見越し、地域を愛し地域に戻ってくる人材の育成に努める。

## 2, 事業の内容

八戸三社大祭や蕪島へ来た日本人だけでなく外国人の観光客へ声がけをし、観光ガイドをする。本校配信ツールにてボランティア活動（三社大祭マスコットづくりや蕪島観光ガイド）集会のお知らせを全校生徒へ配信し、内容説明の集会を7月7日と8日の二日間開催した。その後、自主的な参加者を募集し、8月1日、2日で活動を実施した。今年度は、普通科各コースから三年生5名、二年生11名、一年生16名計32名で実施した。

## 3, 事業の効果・成果

キーホルダーづくりというボランティア活動で、八戸三社大祭へ間接的に参加することによって、地域の活性化へ貢献している充実感が得られた。実際に関東圏や海外（ニューヨーク）からの来客と対面し、会話をするうえで、さまざまな学びを生徒は得ていた。また、老若男女問わずさまざまな年代の方々に喜んでもらえる企画であった。観光客のみなさんも最初はどのようなものかと半信半疑であったが、帰るときには笑顔で充実した表情だった。みなさんに喜んでもらい、参加生徒も充実し、双方の満足度が高い企画だった。

## 4, 事業をやってみた感想、苦勞した点

生徒の感想：当日は想像以上に多くの方々に来ていただき、子供たちと楽しくキーホルダー制作をすることができました。制作中は、子供たちに分かりやすく説明することを心がけ、困っていそうな子がいたら自分から声をかけてサポートしました。最初は緊張しましたが、子供たちの笑顔を見て自然と会話が増え、充実した時間を過ごすことができました。また、子供だけでなく大人の方も制作体験に参加しており、幅広い世代が楽しめる活動なんだと感じました。他県から来てくださった方もおり、この活動が多くの人に親しまれていることを実感しました。親子で一緒にキーホルダーを制作することで、普段はできない体験を共有でき、完成したキーホルダーを思い出として持ち帰ってもらえる素敵なボランティア活動だと思いました。

苦勞した点：バンラボでのキーホルダー作りは今年度で三年目の実施となる。50周年記念事業の諸作業のため、教員の時間調整が難しかった。その中でも生徒達の主体的、積極的な活動のおかげで、何とか成功することができた。多忙な中、三年生が率先して行い、下級生がまねて実施していく協同体制が確立できた。

## 5, 今後の予定や展望

- ①今年度悪天候で実施できなかった蕪島での観光ボランティアを再開させる。
- ②バンラボでのキーホルダー作りの新しいデザインや営業方法を、生徒が考え行動できるように整備する。
- ③各イベントを通し、上級生も下級生も成長する二高の共育・協同体制を確立する。